

## 音読作品を作りつ

言葉をきれいに発するところは非常に難しい。普段の会話ではイントネーションや滑舌が多少乱れていても話したい内容は通じる。ところが「きれいに」となると、様々な要素がからんで、非常に難しい。

この単元では文学作品を一つ選び、音読の練習をし、音読したものを収録し、「作品」として完成する「こと」を図示す。

「きれい」に音読するための要素

- ・ 滑舌をよくする
- ・ 正しい漢字の読み
- ・ 字を見誤らないで読む（「ぬ」と「ぬ」・「せ」と「せ」など）
- ・ 正しいイントネーション（例 箸と端）
- ・ 正しい区切り（例 「こ」ではきものをぬいでください・あぶないからはいってはいけません）
- ・ 聞こえる声の大きさ

### 《音読する作品を選ぶ》

音読作品はwebページにアップするので、著作権保護期間（作者の死後50年）が過ぎている作品をでなければならない。よって、その条件に合う作家の作品で、音の響きの美しさを意識して作られている太宰治の短編をグループで分割して音読することにする。

あなたの担当の作品名

その作品を読む順番

1人目 ( )	2人目 ( )
3人目 ( )	4人目 ( )

### 《収録方法》

雑音が入らないように気をつけ、大きな声で収録する。  
声が小さかつたり、雑音が大きかつたりした場合は再収録とする。  
読み間違え、イントネーションがおかしい場合は再収録とする。

《作業》グループで読みの確認（漢字・イントネーション） グループで相互に読み合わせ 収録